

門心呂了
號 809
卷 1



編修地誌備用典籍解題總目錄

松平定常原撰
幕府學問所補

上卷目次

第一

總記一

壹張表

第二

總記二

九張表

第三

總記三

十六張表

第四

別記一

明治三十八年
十二月一日
發行

第五

別記二

畿内
山城上

廿三張表
廿四張表

第六

別記三

山城下
大和

廿七張表
廿二張表

第七

別記三

河内
和泉
攝津

廿六張表
廿六張表
廿七張表

第八

別記五

東海道
伊賀
伊勢
志摩

四十二張表
四十三張表
四十四張表
四十六張表

第九

別記六

尾張
三河
遠江
駿河

四十七張表
四十九張表
五十一張表
五十二張表

甲斐

五十五張表

第十

別記七

伊豆
相摸

五十八張表
六十一張表

第十一

別記八

武藏上

六十四張表

第十二

別記九

武藏下

六十九張表

第十三

別記十

安房
上總
下總
常陸

七十四張表
七十四張表
七十五張表
七十六張表

下卷目次

第十四

別記十一

東山道
近江
美濃

七十八張表
七十八張表
八十張表

飛驒

八十一張表

第十五

別記十二

信濃

八十二張表

上野

八十五張表

下野

八十七張表

第十六

別記十三

陸奥

八十九張表

附蝦夷

九十二張表

出羽

九十四張表

第十七

別記十四

北陸道

九十五張表

若狹

九十六張表

越前

九十七張表

加賀

九十八張表

能登關

九十八張表

越中

九十八張表

越後

九十八張表

佐渡

九十九張表

第十八

別記十五

山陰道關

百〇一張表

丹波

百〇一張表

第十九

別記十六

山陽道

幡磨

美作

備前

丹後 但馬 因幡 伯耆 出雲 石見 隱岐

百〇二張表
百〇二張表
百〇三張表
百〇三張表
百〇四張表
百〇五張表

百〇五張表
百〇五張表
百〇七張表
百〇八張表

第二十

別記十七

南海道

紀伊

淡路

阿波

讚岐

伊豫

備中 備後 安藝 周防 長門

百〇八張表
百〇九張表
百〇九張表
百一十張表
百一十張表

百一十張表
百一十張表
百一十張表
百一十張表
百一十張表
百一十張表

土佐

百十五張表

第廿一

別記十八

西海道

百十五張表

筑前

百十六張表

筑後

百十七張表

豐前

百十七張表

豐後

百十八張表

肥前

百十九張表

第廿二

別記十九

肥後

百廿二張表

日向

百廿三張表

大隅

百廿三張表

薩摩

百廿三張表

附琉球

百廿四張表

壹岐

百廿五張表

對馬

百廿五張表

第廿三

遊記一

百廿五張表

第廿四

遊記二

百廿一張表

第廿五

遊記三

百廿七張表

第廿六

遊記四

百四十二張表

第廿七

異國

百四十六張表

朝鮮

百四十八張表

支那

百四十九張表

噶爾他

百五十張表

第廿八

異國記

應帝亞

百五十張表

鞞而鞞

百五十一張表

魯西亞

百五十一張表

漂流記

百五十二張表

附錄

百五十三張表

編修地志備用典籍解題總目錄

第一

總記一

日本總國風土記

日本六十州風土を代々下りて元
明乃朝より、事配翻の朝より、
河、先達論已々、其事端定らば
其の今存る所を、皆修書し、之を云

民部省苗牒

孝徳帝大化元年詔あり、
籍田畝園地水陸利等、
七、今標題を奉る、
其の官庫收入、
其の天下、
其の此書、
其の所を

張國行と云々

日本風土記 八卷 每 秋里辭撰

風土記乃久也海と云々其傳は
之れ俗語或いは古多し

風土記 三卷

昔より帝王の系圖王代記日録と題して
神代より十一代後光明帝迄以證跡と
暗記せられたる也

引書風土記 二冊 今并飯閑撰

多く古書と抄録を見考り便り
一編中三十四國あり止む首り
其用可也

風土蠡測 一冊 山田好之撰

地理風俗山河田隴肥瘠等事を以て
以て之を廣く河川も實事あり確切
有る論ありと云々

國名風土記 二冊

國名字音其義を述ぶと前後矛盾
多し信し難し後世人は其撰
之

又 一冊 刻

前書と大同小異且片仮名と和字と
此類宝永五年又刻あり本あり又小異
有り云々

日本鹿子 三冊 破目舟之撰

之れは江戸鹿子なり擬作なりと云々

繪圖社佛蘭名所城地名出所
考故新凡引各河

日本丸鑑二冊

日本鹿子下漏き一河と記凡繪圖
あり他共あり

大日本諸國名義抄或問一冊 伊豆弘風撰

地名國名抄或問一冊

諸國名義考二冊 彦麻呂撰

國名或考一私記とあり

大八洲記三冊

日本異稱と集久國郡の佳名を編凡共
義と編凡

國郡考八冊

名義と考小書

又 馬一冊 本居宣長

日本の稱大小 葺本中國史考義
抄編凡

國名考一冊

名義と考小

國名抄 伊豆弘風撰

國名の名或古書を抄く考し頗る見
るべし所ありし國名風土記乃杜

撰し比古よりの天地懸隔せり

風土記 國名抄書註一冊

撰人名何れ但駿早相遠常武志下徳信
河奥十二國外風土記凡原作く

郡名考再 青木敦書

郡名の沿革と記凡

本朝地名考一冊 宮唯忠撰

五畿七道に郡名を掲げ地名を分

け凡

地名記十冊 内山直竜撰

宮所記と題し自序有り諸國に字成

記凡大和の事多し

地名字音轉用例一冊 本居宣長撰

地名に諸國有り轉用せし類實集凡

其誤りと云凡

諸國之名後改文字説諸高付一巻 再

再

撰者著りし慶安の年号有り國郡名乃
異字出處諸國の古改沿革等の事其記
凡長崎より異國への里程と記凡

國郡之名之字之事 岩松家系回附一巻 一冊 新刊
地名河川兩字通用考 撰 君更

國郡の好名字一定有り事又其義と記凡

岩松家系附録凡

地理類編四冊

撰人不審 各國田祖村名驛次傳馬の

負數關山川地名未定稿本なりし也

云々

地理包括志十冊

五畿七道の本道支路の里程村々其里

程可教川の廣狭考と記凡

地理志稿一冊

各國里敷村数城数奉行の有無田数租数
口数等の事考記凡

諸國中行事大全一冊

神佛祭礼正月より十二月の事考

年中行事大成一冊

名月神仏祭礼と記凡三部の事考多し六月

以下欠

技藝紀勝三十三冊

具原篤信撰

六十餘列の部と分ち名所舊跡を載凡

技業名勝三十三冊

浪井孝徳撰

古蹟名傳文章あり十四國只

西國名所記一冊

宇野某撰

題々々巡礼通考より小津社仏圖の事考

記凡

東國名勝志一冊

鳥羽醉雅撰

故典事蹟と記凡

六十五別名所一冊 一名京遠土名所一冊

寛文中刻凡五畿七道名所と集む

倭國名所繪本盡一冊

菱河師宣画

其地の由来を記し和名一首を繋ぐ

須磨明石名所記一冊

享保年中の撰西所の古戦場田塚等の事

と記凡

名所方角伊呂波分二冊 竹葉好麻呂撰

共名所大凡地理を記凡

人國記四冊

撰者無一 一説北条時頼著凡とす 假托
可也 何々へ 一國々の風俗気質を志
す凡

東鑑莊名一冊

東鑑不出 諸分莊名を奉りて集む

無棄高地圖日録三冊

都城神祠仏寺名所四跡 浩濟博洽地理
可也 何々へ 二冊の圖とす 一冊

國花萬葉記三冊

兼本賀保 禁裡仙洞の事 宮門跡 事

城部圖景諸先輩等の事 名産奇物を附
録凡

事物推輿十冊

大文地理神祕の事物史書と見ゆべし
久保記國史實録より 事物記系と表裏
凡

日本事源考一冊 海 鷲峯坊子撰

人物地理節考 四礼 義朝鮮聘使各世文
人歌人書家才女良將勇士鳥獸専ら地
理に類する凡

關東關西考一冊 摺喜樹撰

關西考の考とす凡

温泉譜一冊 辰井孝治撰

温泉の所在を記す

雲根志 前編五 後編四 十八冊 本内重 曉撰

石類二千余種に及へり 麗愛未用 奇辭怪
光等乃都と分津

別本雲根志 再

石圖二十五 皆着色あり 日人撰

山水奇觀 四冊 湖上撰

圖巧く 自然詩と載り 岩國の名山あり

同續編 四冊 湖上撰

体裁日新

名山圖譜 三冊 河村元善撰 文苑圖

一齊考助 序あり 而筆力巧 抄不却て 去哉

失まゝのものあり

擬集古源 三冊 写

古碑古屏風 銘字を載り 各圖あり

諸分名所難所寄書 再 榎村改勝

享保年間 台命を受け 採集 其為 岩國

と巡ると云ふ 序あり

諸州採集記 二冊 写

前と目し

本朝奇跡 四冊 写

赤前と目し 小野高為 刪定 前々三書大同

小異ありと云ふ

本朝國語 再 失島道甫撰

名所四跡 あり

諸國里人談上冊 兼國治源撰

神釋奇石妖異器材

本朝俗語志上冊 曰人撰

名所旧跡俗語部談其杜撰孟浪なり
とりよ

俚語拾遺上冊 石田某撰

各地の雜説を記し古事舊跡書に事多

諸國方言上冊 越谷秀貞撰

天地人倫草木氣取器用衣食のとりよ

廻國不同語上冊 寫

田敷郡名知行高國の名義地邑江戸と
能里敷名所驛余上産を記し

廻國使上冊

觀察使の故実を考其義致し之を學を
奉く亦式以來の沿革を奉く

輜軒小詠上冊 伊藤長胤撰

諸國乃山林丘陵草木鳥獸の奇異殊撰
異怪を聞書し

諸國便覽上冊

享和元年化新談三十五條を裁し怪誕
有り直り信しへきものあり

宗祇諸國物語上冊

是書妄妖怪誕決て宗祇乃着し邪人云

笑埃隨筆

十二冊 白井喜要撰

作者廻國七一中の怪談奇事艱難苦行
と述ふ古詩歌多し

漫遊雅録

二冊

山林鳥獸奇異の名國行事を記す

烟霞綺談

一冊 西村白鳥撰

古跡名勝奇話珍談

周遊奇談

五冊

神異と述ふる事多怪談多し

故事周録集

五冊

元禄年中浪羊の記は諸國の故事を記

豊臣大岡時代諸大名の限帳

五冊

各國知行馬の記及上様御臺所入高長末

大蔵奉写あり

頼朝の限帳

体裁前と同し蓋好事者の假托あり

川とあり

清勘定所古書付寫諸國見廻目録

二冊

清勘定所古書付寫式列上書信列甲西國境書

一巻

元禄年月あり

御勘定所古書付寫諸國村数書付

二冊

右三書大凡体裁と同し蓋し実事

より直きあり

第二

総記

日本行程考

臆見私談杜撰と極危なる書

杖栗程記馬

此馬二隻を載せし道程古事記の

流河

道程一統志馬十三冊

諸國海道程

海陸諸道行程記馬一冊 一名武跡考

各國の道程書

諸國海陸道中記馬一冊

旅人より便なりしもの故書なりし馬士身延

寺より山靈跡多し

諸國海陸道程記馬四冊

道程及舟月湊津のヶ所七記

増補遠近海陸道程日本記刺

宝永年中刺道程及諸國城主江戸彦後

書なり

海陸帳馬一冊

道程書

諸國海陸記馬一冊

水路行程且海路乃事詳なりし云

海上里程書馬一冊

海路里程

主圖合結道程規考馬二冊

道程

諸國案内旅差馬七冊

道程

從江戸日光山迄五筋二冊 寫

曰前

從江戸松前迄之行程記二冊 寫

曰前

西國順礼道中記二冊 寫

曰前

甲州道中記二冊 寫

曰前

馬上記二冊 寫

曰前

懷百里二冊 寫 山川故跡を考証す

伊勢政及鳥取より諸國への行程と多し

東歸集二冊 刻

別源禪師唐より帰朝して書しとみく

一目玉鉞二冊 刻

假夷より對馬迄至る其間の地界と書けり
免く役覽に書けり

日本水土考二冊 刻 西川忠英

序考皆怪誕なりと云ふ

増補日本沙路之記二冊 高田政友

箱より聞て書きたり

諸國海上道乗記二冊 寫

風土圖を載せて後船政を記す

百川朝崇二冊 寫

地水の源を記し其書に思ふ所を備す

中の冠冕なり

導海傳 二冊

海上乗船の術を記し、船中者用乃若
戒、その用を記したり

本朝河功略記 一冊

圖書載る諸國河功の事と抜出

地名河川兩字通用考 一冊 新井 瑛

考察明白と云へり

港之記 一冊

里數船路を記し

外國入津記 一冊

本邦へ各國來着するの來由と轉心

大坂より西國筋船路 一冊

港の涉深島嶼の大小風候潮汐の宜悪
と記し

地要覽附書 二冊

水主のそく書 一冊

西州船數記 一冊

船數次又諸國船主浦數との印代友故

主の姓名と云

島上ニ水考證 一冊 藤原 宜昌

諸史より裁き所ニ水の事載り、私考と
附し、正誤是非を辨歟し、ニ水の要圖
とあり、考証あり、併し

畿内河記奥別漕運録 一冊

古今導水の利害と云、たり、地志載る

もの先は於て則とて可なり

奥羽海運記畿内治河記

前より大同十吳候

全城録

六十國二島の城居を記す所の如く城居

乃々國産考其の成記既未定乃稿也

諸國城居記

仕撰多し記す所の如く

本朝城居記

國主國高以事茂記し後又城居轉換傳抄

其記あり

新編諸國城居記

兵考者其年より七傳

近代城主記

御南家治世以後の城居傳抄あり

城居家督記

半々城居家督記と記し玉巻左領之家督記

大日本郡國職方記

城居國高の事あり

本朝城居統記

城居の履歴領主右高等あり

諸國廢城考

諸記録より出たり所を採用して國家

耆老

主圖合緒記

所尚家所治世以後領知能分皆注其左
宝永以上の書なり

日本武成舊記一冊

畿内七道を分ち國々城邑代々名氏知
行考七冊

関所記一冊

四十三関の乗例及沿革大小名々の注
せり

本領土産略一冊

未定の本領の気運風土及び人のあり

諸國名相記一冊

察々ありて寡聞に識と免れ
凡

山海名物圖會五冊

平瀬某

諸國名相製法と一々凡

山海名産圖會五冊

藤岡月瑛

種々の名産あり一々

諸國名本編一冊

田中成之

名本或抜萃して多々編一々

扶桑名勝詩集三冊

考田元俊

日本名勝詩選一冊

白云文

送別遊覽の二門あり多々

萬葉名土許呂字多跡四冊

釋契沖

名所の和名を國分りて凡

萬葉集名所分類抄四冊

下河之某撰

歌枕名寄三十九冊

釋岸碩

勅撰名所和歌抄^{二冊} 邦彦改

分門凡六十卷九百二十七首

類字名所和奇集^{八冊} 里村昌琢

二十一代集より名所乃和歌を採摘し伊呂波

とよ川の國々の次序を別し

摘山拾葉^{二冊} 石川清氏

瀧れよ水并と集む

勝心吐懷編^{二冊} 釋契沖

和歌歌集輯録

今按名蹟考^{二冊} 光持斎栄

諸書に載るる所の古人の説を採りし

し自己の見も附載せり

和歌名所歌括^{五冊}

増補名所方角抄^{三冊} 輝宗徳

國々を東西南北より分ち名所を方角に

し古歌集に引てり

類字名所補翼抄^{七冊} 秋葉沖

伊呂波を以て分つ

和歌名所談合^{一冊} 有賀又伯

名所歌雀^{一冊}

五歳七道と分ちて下た奇とわく

名所和奇抄^{二冊}

和奇よあつてさるもの有り

和奇名所考^{一冊}

いろは多りく名を集む

名所和奇三言首秘抄^{三冊}

田舎の奇多し

松葉集 十六冊 刻

法書より字と梅書紙

金太集 四冊 写

鐘銘の法書より存書と輯む

机石抄 三冊 刻 石出若保

部歌と多々哥歌紙

尺所ハ歌集 北本 中尾義稻

独呼乃説成并山一と仰りさむとあり

〜その事〜

日本行部文集 七冊 刻 大庭左輪

各所古跡目よぬき耳よ聞所と字紙紙と

記す也

手毎花 一冊 刻 雜月坡

御に還不明送別及ひ自らの法可成

紙

第三

總記三

本朝神社考 五冊 刻 羅山撰

神社考詳節 一冊 刻 同上

神社考辨疑 五冊 刻

併と崇々儒と撰

津社啓蒙 一冊 刻 白井宗因

諸書より抜引く己の説と附載

本朝諸社一覽 八冊 刻 坂内直頼

諸社同答傳記後より新々
諸社根元記一冊

宝相寺一冊録附して有り
日本國鎮座記七冊

諸國の大社一冊遊錫と云々
大社一冊は屬する
を唯その神々と云々の
神名記二冊

神名帳一冊
諸社靈驗記三冊 真佐

部と分て記
諸神記一冊

未定の書有り由来系圖傳記有り
本朝官雀七冊

羅山弘社考宗因乃神社啓蒙一冊
てしと云記一冊

八幡宮本記八冊 貞正
正説一冊 貞正

授業禅林僧寶傳五冊 釋性
釋性一冊 釋性

日域河上諸祖傳二冊 海雲
住持白澄

漢文一冊 記一冊
本朝諸佛靈應記三冊 釋玉

法華靈場縁起集八冊
武藏國の事多し化を十が一なり

三所略縁起

一冊

江州坂下

越後高田

下野國光昭山

諸寺縁起

三冊

阿波寺々之記

大和國班鳩宮募縁記

一冊

高雄山略記

笠置寺縁記

一冊

大概畧記

河内國壺井意趣略記

相別大磯鴨立澤

一冊

紀州務川寺畧縁記

勢崇志

江島三社并財天未歴

卷末并詩奇

所々縁起

一冊

六部乃書

寺々因縁物語

五冊

尋々々畿内此事なり

本朝寺社物語

一冊

往々画圖

寺社考集

二冊

世々々々高き寺々

伽藍開基記

十冊

釋道温

諸寺社記

大谷遺跡録

一冊

新先哲

卷首親鸞年表

國朝三十三觀音道場偈贊

一冊

蓮華章子撰

御書之記

坂東三十三所觀音靈場記

一冊

釋亮威

西國三十三所觀音靈場記

一冊

釋春鸞

攝三喜一宮巡詣記

二冊

攝三喜

圓光大師遺跡二十五箇所案内記二冊 釋聖澤

道政ニ係ル巨利名所一覽記便本

巡礼舊神祠記二冊 宮田春好

國郡ニ分チ所系印法高并ニ社主法姓
名々記凡

二十四輩舊跡圖彙二冊

國々親鸞の古跡此所悉くあり可レ

二十四輩頓拜圖會五冊 釋了貞

全續編五冊 釋了貞

西國頓礼細見記二冊 西川某

觀音乃像及長経造人の名堂新廣
校考此事成記凡

頓禮道志留邊二冊

日本寺社領負數記二冊

五畿七道ニ分チ之ニ社考凡

寺社宝物展覧目錄二冊 柴野彦助 住吉内記

二人令と奉一々諸分を遊歴一供寺

諸社ニ分チ自一寫一未之り一都敷

と分チ記録せり

前王廟陵記二冊 松下見林

考索盡せりと云へ

陵墓志三冊 竹口尚重

諸書より載たりを引く是類を凡

御陵記二冊

是書松下見林の書と参考して見ると
取ると多し

諸陵考 一冊

元禄年間記 一冊

御陵考 一冊

諸陵記とは甚異同なるを以て詳悉を以て

と云ふ也

諸陵記 一冊

細井知慎

台命と受て書きしなり

歴代廟陵記 一冊

享保所記 一冊

歳内及諸國乃河の所記陵墓也

なり

山陵志 一冊

刻

蒲生秀実

曾て漢書を撰て九志を以て先
之なり

古廟陵考 一冊

村井古巖

植物記記の題名と古なり

改正日本輿地路程全圖 一冊

長久保玄珠

大日本細見指掌全圖 一冊

鳥羽洞斎

着色して國界を分ち里數方角を正し

大日本國繪圖 一冊

縮尺は最も小なり

大日本國郡圖 二冊

天度及び方位を正しなり

大日本國圖 一冊

海上水道法を以て入るなり

延宝日本圖 刻

國界を以て城印驛印を以て標識する

戸川家日本古圖 寫

大略概しるに足る

日本分形圖 刻

道成を以て他諸分を以て示す其圖を以て

巻尾に其方位所を以て道程を以て

馬淵氏日本圖 刻

海路を以て示し其陸路を以て示す

日本度数之圖 寫

諸分を以て示す

大日本獨製內 刻

日本道中行程記を以て示す其圖を以て

賦役を以て示す

國備 五本

全國を以て一國毎に一圖を以て示す

東海道西海道細見圖 刻

神祠佛宇を以て示す其眺望風景を以て

示す

自筑列相之島至松本大坂中國海路圖 寫

方位を以て示し其着色あり

諸國形踏圖 寫

春夏秋冬を以て示し其着色あり

關東八州圖 寫

此圖城下を以て示す其勢を以て

又 寫

郡界と分て着也あり

関八歩川々之圖寫

水波の脈絡枝流分派経緯縦横あり
ありや々巨細又布置しし村名載し書
せり

東西海陸之圖刻

陸路と雙墨線と用い海路を單墨線
海路と

上別式出順見圖寫

神社仏閣及真宗あり

二水合流圖刻 荒木帆風

四傍より二水道節流地長里數等記
せり

朝鮮ヨリ大坂へ船路首刻 斤圖集

墨線と白線と水路並あり

從武州江戶對馬迄海上圖英奧別海路寫

東條分よりて并あり

下関至松前海上圖寫

五色を以て國境と并り島嶼を云属あり
所の色を月あり

大坂至長崎海上圖刻

城郭郡村より山川林野津羽併圖あり
しる

從大津至鳥取圖寫 本定常撰

正誤明白あり

漂容奇堂圖刻 万西園 谷文晁記

曲玉管玉雷斧等之圖寫

川合某

文晁乃画松膝寫其々々々々々

各所古刀劔圖寫
諸社奉納之古刀或古土中より採出之
所其古劔古集也

武列信少國境画圖寫

舊題——河内定所古書并寫武少上別
信列甲列國境畫并流画集と云ふされ
と武信少國名代初代也

甲陽軍鑑合戦卷圖寫

兵家者其手工出也

第四

別記

畿内

五畿内志

十冊

並河永

大明一統志其体より倣し

五畿内巡覽記

一冊

里敷之其之形軍家所代々余々々々奉
仍乃名代載其京保年同の化なり

遷都考

一冊

平本定智

諸書より抜引し其見せしき編纂なり

禁中院中御領

一冊

御帳形、靈元院乃所母新廣儀門の遊
去乃事代考なり

京大坂巡見場所附 写一冊

巡見使の筆 何れん

盲賊吹毛耻談 写一冊 藤系慈實

恭考了備 小冊 事あり

撰外西乃宮 社人 某神よりりて恐徒

杖乘鐘銘集 三冊 岡崎信好

子畿七道 外都 不人

南北二京靈地集 二冊 釋良定

寺社乃事 外

五畿内圖 写

神社伝説名勝古跡 より海峯水法深

汐干の間敷 寺伝記 詳悉なり

御陵圖 写

着色 一冊 図より

河泉横陵墓記 系圖 一軸 吉川茂用

京都巡覽集 五冊 延暦七年刊

山城

山城風土記 二冊 写

久世一郡 外

山城名所記 十一冊 山中泰成

名所三百餘 を河平より長守打り 諸記あり

山城四季物語 三冊 坂内直邦

和奇 も あり

山列名源志三冊 釋白慧

地名ナリ一垢下ナリ存セ々々乃印ナリ

山城名勝志三冊 大富武好

正説ナリ考証可レ從

城列國鑑一名雍 二冊

列郡鑑 寫

各郡村々及寺社ナリ門前境内富ナリ山ナリ枝
目ナリ及ナリ所ナリ中ナリ記ナリ

名所都鳥三冊

名所ナリ分ナリ之ナリ故実ナリ也ナリ記ナリ

京都名所記三冊

巡見使乃事記ナリ

山列巡見記三冊

巡見記時ナリ日別ナリ南ナリ々々出ナリ所ナリ乃事ナリ

水寫ナリ

雍列府志九冊 黒川玄逸

大明一統志ナリ伴ナリ下ナリ例ナリ小博ナリ而雜ナリ功罪
相半ナリ

菟菟泥赴五 北村季吟

考據ナリ

都名所ナリ固會三冊 秋里舜福

是一時ナリ射利ナリ去ナリ々々見童ナリ水觀ナリ
供ナリ々々

同 拾遺五冊 同人

前編ナリ通ナリ色ナリ一ナリ哉ナリ々々

都林泉名勝集會二冊 秋里舜板

古今歌詩奇一冊 有と記とたし

京童二冊 中川喜雲

童蒙歌歌一冊 供一冊

案内者二冊 日く

朝廷の儀式及畿内諸公神社祭礼の寺

法會等と記——由圖を載る

京雀二冊

前と同体と書れる

跡追二冊 中川喜雲

京童の遺漏と幼らひと記とたし

都省案内者二冊 京都炭屋甚多の著なり

京羽二重二冊 留二冊

京羽二重の漏き——と見止免語と云

京羽二重大合八冊

京羽二重の二二部門を掲げり

京中名所二冊

巡見使の年記なり

都多所を引案内一冊 洛下飛定

花洛名所記一冊 洛下飛定

公家屋敷より寺院町御まへ記なり

京城勝覽一冊 具原篤候

名所車一冊

道程大概次り内裏と外見洛中洛外

散在せり社神園地畧なり

京聖披書一冊

京師後所田書及抄録(一)

京内末以里二冊

洛中下流の舟を擧て坂下洛中流下の津
社公署見抄及吹流と云々

内裏雛一名京 二冊

祇社餅有流縁起名勝古蹟及是歴城記

三

京兆典要二冊 平安 一冊

博物志助と云々

京町鑑二冊

京師の沿革大略と少流の度標(一)可
下一頁

平安志二冊 宇野鑑

神祠佛院と隆く見可なり似たりけり
地誌乃伴及云々

京之水二冊 扶里舜政

考授精養所(委瑣)事云々

皇都濃技四冊

巡見使乃筆記云々

出来齋京土産七冊

狂言以とあり見可なり事云々

都の平振二冊 山岡某

都下(一)記云々 都下(二)撰雜事実云々
廢(一)へ云々

奇遊談四冊 川口好和

古集(一)河川見云々

第五

別記

山城

免道舊記二冊

年中行事古蹟名所記事紙因小

免道畧志類邊二冊

名所古蹟名所記事紙因小

河判

嵯峨名所記一冊 野次井巻

道心篇之記一冊 名所名所

花吹繪馬評判三冊

画圖河判之一冊

平安齋攷記一冊 笠頭常

天明八年京師火災記事紙

卷紅葉都新三冊

前回傳子一冊 伝書紙 怪談異説あり

和歌名所追考十二冊 高野真重

類字名所集乃追考あり

山城列四山名蹟詩一冊

詩形一冊 卷末古人の小傳数回河を

京師巡覽集十四冊

難大急此詩あり

蹄痕集一冊

詩あり

山城古蹟有磯海十一冊 立羽不角

名所古蹟を書一冊 伝書紙の卷あり

詩仙卷志 四冊 蘇原成烈

詩仙大詩奇 河川 古抄本 同毛あり

寛永行幸記 三冊

供奉行列書 成 古本あり

稻荷山十二景記并詩畫 一冊 荷四信卿

圖成河 了 了 古詩毛附

賀茂皇古神宮記 一冊

一種乃古書 古本あり

男山放生大會 五冊 菅宗徳

放生會縁起 成 古本あり

祇園社縁起 一冊

諸書より抜引せしものあり

祇園御霊會細記

種々其圖成河よりたり

山鉾由來記 一冊

種々の事成河より都て紫札の事あり

祇園會山鉾之記 二冊

圖成河より解成河あり

祇園會山鉾訓解 二冊

前と小異河より同あり

日吉山王二十一社新記 一冊

古書成河より神体乃降臨靈跡乃時代評

上京中寺庵方日録 一冊

神社乃異河より古本あり

山姥國中淨家寺鑑 二冊 古本あり

各寺之本尊作者及本寺村名等

山崎鏡原寺縁起写一册

卷末壬辰祝融乃事以載

浴湯誓願寺縁起写一册

本尊外希有外因縁成記

清水寺縁起写一册

出雲寺記写一册

高雄山神護寺縁記写一册 延三位實志

諸家の舊記を抜引

壬生寺縁起写一册

壬生地蔵尊縁起写一册

前編に再刻猥部見たり

真如堂縁起写一册

重建轉法輪藏寺縁起写一册

南瞻部洲差我五臺山実記写一册

當寺水蔵校

嵯峨釋迦有像記写一册 伴後明

穂苅江説

南禅寺書留写一册

古文書或輯志

東福禅寺伽藍記写一册

仁殿法堂新山の草花の所は佛像

記

天龍寺記写一册

南寺より此書上げ微細其事

戊申の裏炎上記附成奈卿墓誌銘石人馬二冊
権山沖凌碑考証二冊

石殿考乃各

兼好傳記二冊 倉田松益

抄記一冊

黄檗開山國師傳二冊 釋道澄

黄檗山外事洋方一冊

山城名勝志圖十三冊 大島茂好

詳存一冊

山城別大繪圖一冊

道程古産 片打

山城紀伊郡久世郡地圖一冊

郡江大小里程と記尺

城州川々繪畵一冊

堤塘神社の属顯然たらしの之を以て

地名村々も記尺

元禄板京都之圖一冊

道程

京大繪圖一冊

洋明一冊

中古京師内外地畵一冊

着色櫻花の所を燕脂を以て

京大繪圖一冊

手引京繪圖一冊

疎漏閑略

大内裏御圖 寫

洋密ナリ

新内裏圖 寫

新内裏之繪圖 寫

洋密ナリ

大内圖 寫

内裏圖 刻

新内裏略圖 寫

前の内裏と互ナリ洋密ナリ

紫宸殿清涼殿小内侍所圖 寫

泉涌寺御廟繪圖 寫

着色トナリ分リ

花洛細見箇 刻

十五帖

前書ナリ寺社乃抄ナリ

華頂山大法會圖 刻

一本

大和

和別齋源考 刻

五冊

林宗甫

誤ル事能ハルコト云々ト云ハレテ

廣大和名勝志 寫

三冊

藤島言

藤脱不次

大和古蹟考 刻

五冊

一枚ト下ナリ私考アリ

大和名所圖會 刻

三冊

秋里舜編

体例都圖會又同ナリ

大和記 寫

一冊

郡山ニ至リテ書クナリ

和列巡覽記冊 貝原篤信

吉野の事最々くく

平城跡跡考冊

古書了 微し 南名七辨以

和州郡山所城主之次第冊

延宝七年より貞享二年に依る

和列郡村志冊

十五郡の郷帳あり

南都名所集冊 打井道弘

堂社系歴あり

南都名所道筋記冊

春日古記より歌と抄あり

南都賤冊 小笠原基長

考証明審あり

南都名所記冊

名所古跡あり 巻末名物九種あり

奈良名所八重櫻冊 大久保秀興

考証あり 寺あり

宇佐名所記冊

事跡来由と記し 海、新考とあり

吉野山獨案内冊

古昔の事あり 寺あり

吉野加名生和田村堀氏家宝圖冊

武野あり

和列吉野郡古新清蔵入高内冊

大和國冊 下南北田原村明細書冊

風候土地と云々
和別寺社記 寫

大和國 平群郡 寺院本末帳 寫
寺 水

春日權現々驗記 寫
世の好古もの
して若派り備ふ

春日山記 寫
興福寺延年舞式 寫

東大寺藏書文 寫
大衆の名おとく記

西大寺藏本 寫
勅書詔文通方

勅書將軍家文書七十三種有
正倉院宝器目錄 寫
種々の巻お

多武峯縁記 寫
大織冠の事と漢文と云々記

南都大佛殿縁記 寫
長谷寺縁起 寫
釋憲

菅公乃撰書と云々和語と譯
豊山傳記 寫
雜陰慶

長谷寺縁起文 寫
菅平道真撰
當麻曼陀羅白記撮要 寫
釋古碕

法隆寺伽藍本尊靈記 寫
刻

若お教後あり

和陽宣都廟陵記二冊 奥本某

廟陵所存之記一領之地頭は名久成

益田池碑銘二冊 刻

釋文或附記せり

佛足石碑銘二冊 刻

附記可也

草壁皇太子傳來日皇子傳兼久米寺記二冊 寫

考証明白私考と附

武内宿禰墓廟考二冊 竹口尚重

諸書と引く異同其の一二あり

武内宿禰略傳并墓考三冊 寫

同体乃書し〜や、洋畧河

大柱記贈淨廣一河島皇子五郎社記二冊 竹口尚重

私考あり

大和國大繪圖刻 中村某

道程圖傍と記あり

大和津陵圖一冊 寫

神武より欽明より撰ぶ

奈良都大繪圖二冊 寫

悉く手書き〜取られた

又 小繪備寫

着色の圖

初瀬山圖刻

畧圖あり

大内陵圖寫

詳、以、

室村陵之圖寫

和州大峯天河社圖刻

諸陵並益田池首寫

大小二系あり、着色紙、

東大寺藏庫宝物圖寫

四十三品、可判

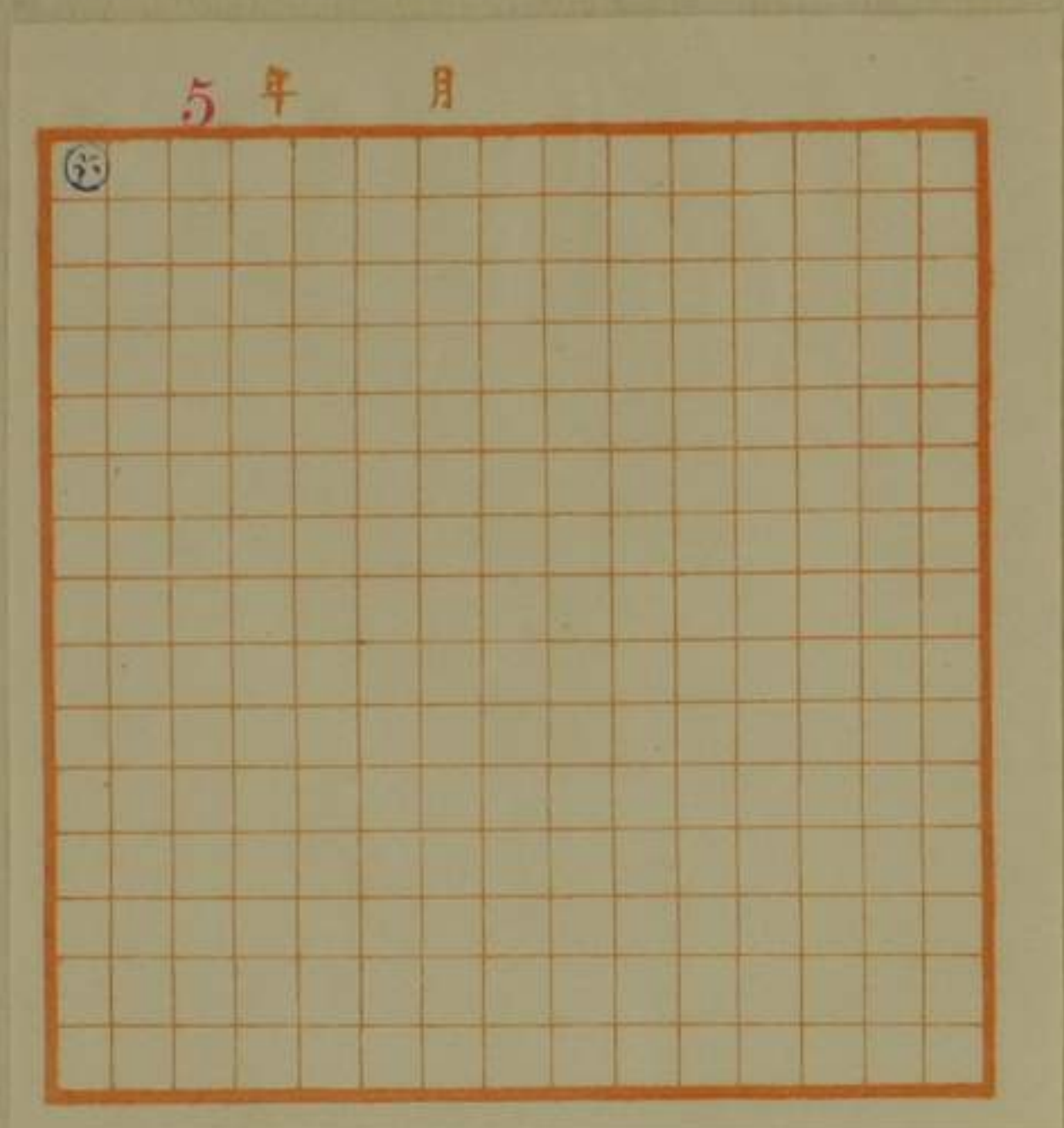
南都更丈寺宝物圖寫

着色圖

東大寺宝物圖附録寫

大和國郡山城繪圖寫

神社佛閣諸家屋敷安之寫、



大内陵圖 寫

詳、以、

室村陵之圖 寫

和州大宰天河社圖 刻

諸陵並益田池苗圖 寫

大小二景、着色、

東大寺藏庫宝物圖 寫

四十三品、可、

南都更大寺宝物圖 寫

着色圖

東大寺宝物圖附錄 寫

大和國郡山城繪圖 寫

神社佛閣諸家屋敷之圖 寫

